

新年のご挨拶



「日本一 お客様に愛され 選んでもらえる島」に向けて一歩前へ

佐渡市長 甲斐元也

あけましておめでとうございます。平成26年の新春を迎え、市民の皆様にご挨拶申し上げます。

私が市政をお預かりして本年4月で「折り返し点」の3年目を迎えます。

この間、市民の皆様からは市政各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝いたしております。

昨年を振り返りますと、島のあちらこちらで明るい兆しが出てきました。

その一つが「佐渡を何とかしよう」と行動する市民の皆様による活性化への芽です。他への依存だけではなく、自力で佐渡を良くしようとする集落の活動や付加価値の高い特産物の生産などが始まっていることです。次に、それら佐渡の芽生えを見て「佐渡を応援しよう」という佐渡ファンが増えてきたことです。企業や一般の皆さん、学生など色々な世代からなる応援団です。私たちはこの応援団の期待に応えることが出来るように、一人ひとりが考えて行動することが大切です。

一方で、これから佐渡を取り巻く情勢は厳しいことが予想されます。一つは4月から消費税の3%増税による生活・経済への影響です。そし

て主要産業の農業における減反廃止に伴う農家経営への影響、日本全体の人口減少によって交流人口の減少からくる観光関連産業への影響、さらには合併特例期間の終了に伴う地方交付税の減少などです。

このことは何も佐渡だけの問題ではありませんが、この情勢の変化に対応するため、平成21年に策定した「佐渡市将来ビジョン」の財政計画、行政改革、成長力強化戦略等を見直すとともに、限られた予算の中で地域が一丸となって「何が必要なのか、何かは我慢しよう」というメリハリをつけた取り組みが必要であると考えております。

佐渡市が誕生してから今年の3月で10周年を迎えます。市民一人ひとりが「チーム佐渡」の一員として全国の応援団とともに「日本一 お客様に愛され 選んでもらえる島」を目指して一歩前へ進みましょう。

私はその先頭に立ち、全力で市政運営に取り組んでまいりますので、皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、今年一年が皆様にとりまして健康で希望の持てる良い年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。